

# 今後のぶどうの栽培管理について ～着果管理、高温障害対策～



令和 7 年 7 月 1 0 日  
会津農林事務所農業振興普及部

## 1 気象概況（若松）

表1 月別気象表（会津若松市）

| 月     | 半旬 | 平均気温（℃） |      |      | 最高気温（℃） |      |      | 最低気温（℃） |      |      | 降水量（mm） |       |        | 日照時間（hr） |       |        |
|-------|----|---------|------|------|---------|------|------|---------|------|------|---------|-------|--------|----------|-------|--------|
|       |    | 本年      | 平年   | 平年差  | 本年      | 平年   | 平年差  | 本年      | 平年   | 平年差  | 本年      | 平年    | 平年比（%） | 本年       | 平年    | 平年比（%） |
| 6     | 1  | 17.7    | 19.0 | -1.3 | 22.8    | 25.2 | -2.4 | 13.3    | 13.6 | -0.3 | 9.5     | 8.6   | 110    | 22.2     | 34.0  | 65     |
|       | 2  | 21.7    | 19.7 | 2.0  | 28.4    | 25.6 | 2.8  | 15.9    | 14.7 | 1.2  | 1.5     | 10.3  | 15     | 32.7     | 31.3  | 104    |
|       | 3  | 20.4    | 20.3 | 0.1  | 25.6    | 25.8 | -0.2 | 16.1    | 15.7 | 0.4  | 36.5    | 13.6  | 268    | 17.8     | 28.1  | 63     |
|       | 4  | 27.0    | 20.8 | 6.2  | 33.3    | 26.0 | 7.3  | 21.8    | 16.4 | 5.4  | 0.0     | 18.0  | 0      | 47.2     | 25.0  | 189    |
|       | 5  | 25.6    | 21.3 | 4.3  | 31.0    | 26.3 | 4.7  | 21.4    | 17.2 | 4.2  | 10.5    | 24.5  | 43     | 25.5     | 22.7  | 112    |
|       | 6  | 24.8    | 22.0 | 2.8  | 31.7    | 26.9 | 4.8  | 20.0    | 18.0 | 2.0  | 3.0     | 31.4  | 10     | 33.4     | 22.0  | 152    |
| 平均・合計 |    | 22.9    | 20.5 | 2.4  | 28.8    | 26.0 | 2.8  | 18.1    | 15.9 | 2.2  | 61.0    | 106.4 | 57     | 178.8    | 163.1 | 110    |

会津若松市の6月の平均気温は22.9℃で平年より2.4℃高くなりました。特に、4半旬は平年より6.2度高くなりました。降水量は61.0mmで平年比57%と少なくなりました。日照時間は178.8時間で平年比110%となりました。

## 2 向こう一ヶ月の天候の見通し（仙台管区气象台）

暖かい空気に覆われやすいため、向こう一ヶ月の気温は高く、期間の前半は高い状態が続く見込みです。また、太平洋高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の降水量は少なく、日照時間は多いでしょう。

## 3 着果管理

### （1）摘粒

ねらい：果粒の数や房の大きさを制限することにより房形を整え、粒揃いおよび果粒肥大を良好にすること。裂果防止効果も期待できます。

#### ア 予備摘粒

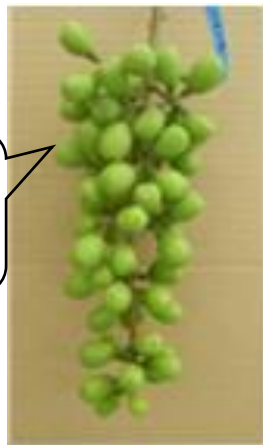
○時期：ジベレリン処理1回目と2回目の間

○方法：摘粒バサミを使用し、上部支梗を切り下げるか、房尻を切り詰めます。内向き果、小果粒などを取り除き、果梗を残さないように注意し、50粒程度に仕上げます。（※仕上げ摘粒時に支梗を切り下げると、果粒が上を向きにくく、上部穂軸を包み込まなくなるので、予備摘粒時に切り下げると良いです。）

## イ 仕上げ摘粒

○時期：2回目のジベレリン処理終了後

○方法：果梗が太く、大きい顆粒を中心に外向き果を配置しましょう。「シャインマスカット」など、上部支梗が伸びやすく、肩部が果粒で埋まらない場合は、最上段には少し多めの4～5粒程度を残し、穂軸を包み込むようにし、最終的な着粒数（40～45粒程度）に調整します（写真1、図1）。



内向果、変形果  
を取り除く



上段の枝梗では、  
いくつか上向きの  
果粒を残すと、  
きれいに仕上がる。

下段では、房尻の  
形がきれいにまと  
まるように果粒を  
残す。

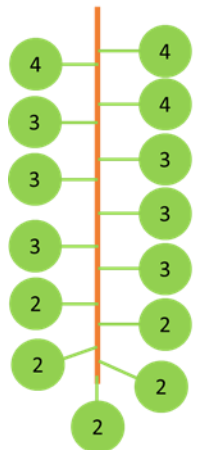


写真1：摘粒前（左）と摘粒後（右）

図1：仕上げ摘粒後の粒数の目安

## (2) 摘房（短梢せん定樹の場合）

### ア 予備摘房

○時期：開花前

○方法：1新梢1花穂を目安に行いましょう。

### イ 仕上げ摘房

○時期：2回目のジベレリン処理終了後からベレーゾン期（＝水まわり期、果肉軟化期）までの間。

○方法：新梢5本に4房までを最終着房目安として行いましょう。果粒肥大を見ながら数回に分けて行う。果粒の小さな房を摘房しましょう。

## (3) 袋かけ・傘かけ【日焼けを助長しないよう、タイミングに注意！】

○時期：摘粒後、速やかに実施します。ただし、ベレーゾン期は最も高温に弱いため、被袋はベレーゾン期の前もしくは後に行いましょう。梅雨明け直後の高温になる時期や30℃以上の高温が続く場合の被袋は避けましょう。

○方法：できるだけ気温の上がない曇天日に実施しましょう（袋かけ後の数日間も曇天が続くような日が望ましい）。高温障害を防ぐためには、透明度の高い袋（白色）は避け、緑色、青色の袋を使用します（写真2）。袋かけ



写真2：袋かけの様子

だけでは袋内の温度が上がりがやすいため、傘かけを必ず併用します。傘かけをすると、果面温度が3～5℃低下します。

赤色系の大粒種では、透過光線量の多い袋にすることで望ましい着色にすることができます。日照不足の際は早めに除袋します。ベレーゾン期を境に白色袋→透明袋に付け替えるのも良いです。

## 4 高温障害対策

### (1) 概要・発生原因

果房の肩の部分の軟化褐変、果皮面に褐色の火傷状の斑点が見られ、褐色部はしだいに陥没します。ベレーゾン期以降に発生すると果柄に現れ、褐変萎縮し、果実は縮み落下します。

梅雨明け後の高温時に発生しやすいです。果肉温度が35℃以上になると要注意で、40℃以上になると1～2時間で発生します。



写真3：高温障害を受けた果粒

### (2) 対策

#### ア 換気

効率よく外気を取り入れる必要があります。妻窓・天窗の開放（写真4）と簡易換気扇の設置（写真5）により、ハウス内の気温を下げましょう。



写真4：ハウスの妻窓（左）、天窗（右）



写真5：空動扇（左）、防虫ネット（中）、換気扇（右）

#### イ 袋かけ、傘かけ

被袋時期、袋の種類は袋かけ・傘かけを参照してください。

#### ウ ハウス内の散水

散水チューブ等を使用し、気化熱で温度を下げます。散水後は過湿になるため、風の通りが悪いハウスでは業務用扇風機を用いて空気を入れ換え、湿度を下げるのが望ましいです。